

【六甲高山植物園】秘境に咲く神秘の花 「ヒマラヤの青いケシ」が見頃を迎えました！

六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治 阪神電気鉄道株式会社100%出資)が六甲山上で運営を行っている「六甲高山植物園」では、**秘境の花**「ヒマラヤの青いケシ」が見頃を迎えました。

当園では“ヒマラヤの青いケシ”や“ブルーポピー”と呼ばれる青いケシの代表格である「メコノプシス・ベトニキフォリア」を栽培しています。高山に自生するため暑さに弱く、関西での栽培は難しい植物ですが、当園では、一昨年より種子から育てていた株の開花に成功しました。今年は約100株をロックガーデンとアルパインハウスでご覧いただけます。ヒマラヤの青いケシの屋外展示の規模としては西日本で最大です。



◆メコノプシス・ベトニキフォリア(ケシ科)

ヒマラヤの奥地に生育する高さ1.6mにもなる多年草です。澄み切った青空のような美しい花が咲きます。標高3,000mを超す高山にしか見られないうえ、容易に近づくことができないヒマラヤの奥地に咲くため、“**秘境の花**”として知られています。1990年に大阪で開催された「**国際花と緑の博覧会**」において紹介され、一躍有名になりました。今年の見頃は6月中旬までの見込みです。

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137/〒657-0101神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【入園料】大人(中学生以上)700円 / 小人(4歳~小学生)350円

【開園期間】~11月23日(火・祝)【休園日】5月・6月は無休。

【開園時間】10:00~17:00(16:30受付終了)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、営業・イベントの内容を変更・中止する場合があります。